

K S K Q

エヌピーオー

NPOちゅうぶ 通信

つうしん

ねん がつごう
2025年7月号



By Akie

ゆうせいほごほうもんだい おおさかふこうしょう 優生保護法問題 大阪府交渉
みなさんも体験して下さい JR可動スロープ
ひょうごけんほうしき えんせき ちょうさ い 兵庫県方式（縁石）調査へ行ってきました
だい かい 第2回ボーリング企画 By岸原しほ
おにごっこ（チラン）
ナビゲーション
すぎはらたいち じりつせいかつ ほうこく 杉原大地さん自立生活プログラム報告

はまだ 濱田さんありがとう！！
きとみち おへや 木戸通雄の部屋
マノスタ
きょうりよくかい ひ 協力会費 カンパ
へんしゅうこうき 編集後記

優生保護法問題

大阪府は責任を自覚して、謝罪と補償を届けてください



優生保護法問題については、昨年の7月3日の最高裁の画期的な違憲判断、今年1月の補償法施行を踏まえて、どう被害者に謝罪と補償を届けるのかが、最大の課題になっています。大阪障害フォーラム(ODF)、おおさか旧優生保護法を問うネットワーク、大阪弁護団の三者で、大阪府へ要望書を提出し、7月1日に大阪府(健康医療部地域保健課)と協議を行いました。

大阪府は、全国でも4番目に被害者が多く1600名以上おられますが、沈黙を強いられてきた被害者は埋もれたままで、あまり相談や申請につながっていません。大阪府は、一般的な広報や周知はするが、探し出すことはしない、知られたくない被害者のプライバシーの問題がある、もっと、国が法整備や何をすべきかきちんとした通知を出さない限りできないという見解を示しました。

問うネットやODFから、国の個人情報取り扱いの見解や、施設職員への協力依頼の強化など、具体的に指摘し、できることはしっかり進めてほしいと強く求めました。

また、弁護団の辻川圭乃先生から、優生保護法によって偏見が助長されたから、申し出ることができなくなったわけであり、違憲であり被害者への補償をせよとなっていることを踏まえるならば、大阪府が積極的に被害者を探し出し、謝罪すべきでないかと強い訴えがありました。

以下、主なやりとりを紹介します。(文責:堀)

●知事の謝罪について

(三者) 大阪府も原告に対面で謝罪してほしい。愛知県や兵庫県などは謝罪いただいている。
(大阪府) 1月に補償法の施行に際して、専門窓口開設の案内とともに知事が謝罪の弁を述べている。

●周知・広報について

(三者) 聴覚障害者の相談については、ろうあ会館につなげていただいているが、今後も確実ににつなげてほしい。デジタルサイネージの実施や、テレビCMなどを充実してほしい。
(大阪府) 市町村の福祉窓口などで相談があった場合など、確実に対応できるように引き続き行う。
デジタルサイネージの予定はしていないが、テレビ大阪での放映時間は増やす予定。

(三者) 3月4日付で高齢者施設、障害者施設、病院などの関連機関にアンケート方式で、該当資料の有無の調査と、資料の保全依頼を実施された。件数と対象範囲、実施結果はどうだったのか。
(大阪府) 6561件送付した(政令・中核を除く)。該当がある場合のみ回答を求めた。該当は2件のみで、

うち1件はすでに請求済みの案件。もう1件は、近くヒアリングの予定になっている。
(三者) 兵庫県は6200件実施し、回答率57%、11件が新規に判明している。無い場合も含めてきちんと回答を求めるなど確実にやってほしい。政令・中核でも実施できるよう働きかけてほしい。

●謝罪と補償を届ける取組について

(三者) 国(こども家庭庁)とのやりとりで、「補償のために周知をしないといけない、そのために必要な調査も都道府県が行うこととされている周知の範囲に入る」と言う考え方を聞いている。また、1月14日付けで発出された「個別通知にかかる留意点等」において、個人情報保護法上の解釈も示されているところ。これらを踏まえ、府はもっと積極的に補償を届ける取組を実施してほしい。
(大阪府) 周知の一環で協力依頼することも示されているが、幅広く広報することが基本である。一律に調査をして探し出すことは慎重な対応が必要。必要な方により情報が届く方法を検討していく。個別通知の留意点等においても、知られたくない方への配慮が特に示されているので、洗いざらい調査することが良いことなのか、本当に踏み込んで調査すべきであれば、国による法整備やきちんとした見解を国から通知で示していただきたい。

(三者) 大規模施設や病院、すでに被害者が出ている施設など、被害者がいる可能性が高いと思われる施設へ協力依頼を行い、利用者台帳などの記録を職員担当者によって確認するなどの取り組みができないのか。当該施設の職員が確認し、必要に応じて制度や申請案内、申請のサポートをしていただくことは個人情報保護法上も問題がないのでないか。
(大阪府) 国は個人情報保護法上問題ないと答えたようであるが、その方法しかないのであれば、都道府県に通知してほしい。国は個人へ知らしめることについては、都道府県へ委ねるということになっている。施設の方への制度の一層の周知・広報についてはさらにどう周知すべきか検討していく。ただ、知られたくない方も含めて洗いざらい調査することがいいことなのか、慎重に対応させていただく。

(三者) なぜ知られたくないと思っているのか、旧優生保護法によって生み出された差別の結果である。7月3日の最高裁判決は国の違憲な法律による非人道的な施策を行った責任は重い、すべての被害者に対して国が責任を取れという内容。国が間違っていたという謝罪を届けるために探し出すことにどこに問題があるのか。被害者であることを公然としたいわけではなく、本人に情報を届けるために探すことはなんら問題がないではないか。
(大阪府) それは府の問題でなく、全国的なこと。まだ被害を訴えていない方はぜひ申し出いただく必要がある。そのために各施設にご協力いただき探すということであれば、都道府県に委ねるということでなく、国として法整備なり、考えを示すなどの対応が必要でないと考える。
(三者) 施設の職員ときちんと対話して、協力を依頼し、何ができるか検討できないのか。知事が対面で謝罪すべきでないか。子どもを産んではいけないとレッテルを貼られて、差別されてきた被害者にあなたが悪かったのではないと謝罪を届け、実行した大阪府ができることは最大限させてもらいますというのがあるべき姿。TVやSNSで発信するなど、できることはいろいろあるのでないか。
(三者) 施設長など強制不妊手術をさせたことをよく知っている実態がある。被害者救済のために協力を呼びかけ、見聞情報を集めてはどうか。
(三者) 福祉部や人権問題主管部局(府民文化部)や医師会、福祉関係の職能団体など連携し進めること。

みんなも体験してください！^{たいけん}**JR西日本 可動スロープ**

ＪＲ桜島駅とＪＲ新大阪駅に設置されている可動スロープを検証へ行ってきました。調査者は
電動車いす、簡易電動車いす、手動車いす各ユーザーです。

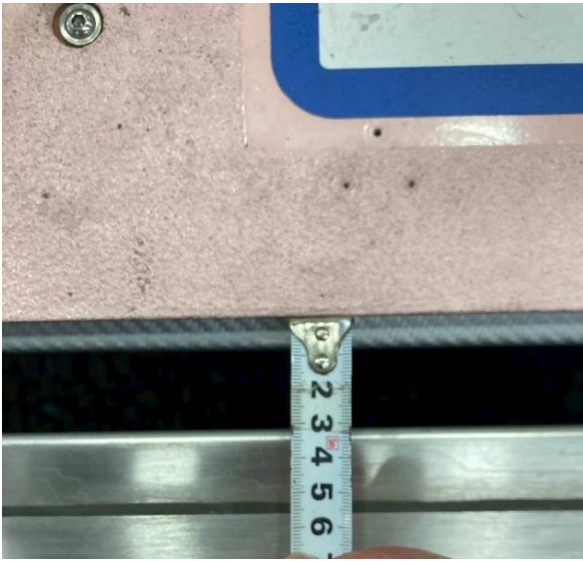
可動スロープは 4月21日～大阪・関西万博の開催期間の 10月まで設置されていて、時間帯はエキスポ
ライナー（万博期間中に運行される臨時直通列車）が発着する時（1時間に 1本）に、スロープが
可動します。可動する時間は 10時～20時です。

ＪＲ桜島駅 1・2番のりば「足元〇7付近」
ＪＲ新大阪駅 2番のりば「足元△2付近」

可動スロープの設置場所の案内がホームの頭上などにあれば、わかりやすいと思いました。



「こちらは可動スロープです。離れてお待ちください。」とアナウンスが流れます。可動スロープの
存在を知らず、可動スロープの上に立っていると、ずっとアナウンスが流れ続けます。列車が到着
して扉が開く前に可動スロープが上がり続いて扉が開きます。列車が発車する際は、まず扉が
閉まり次にスロープが下がる仕組みになっています。
スロープ作動前に人が立っているとスロープが作動しません。



かどう せっち ところ
可動スロープが設置されている所のホームと車両の隙間3 cm、高さ 3 cm でした。



かどう せっち ところ
可動スロープが設置されていない所のホームと車両の隙間9 cm、高さ 5 cm でした。

【調査した感想】

えきいん かいじょ たの じょうこう らく かん
駅員さんの介助を頼まずに乗降できるのは楽だと感じました。

じょうこう かん かどう けいしゃ さき とびら くるま おお
乗降に関しては、可動スロープ(ピンク)の傾斜の先に 扉 のレールがあって、車 いたのキャスターの大きさや向きによってはひっかかると思いました。

かどうしき ひろ だれ おな じ かん つか かた でんしゃ の ゆうこう しゅだん う
可動式スロープがもっと広まれば、誰もが同じ時間の使い方 で電車に乗れる有効な手段になり得ると思います。検証が進み早く他の駅にももっと広まれば良いと思いました。

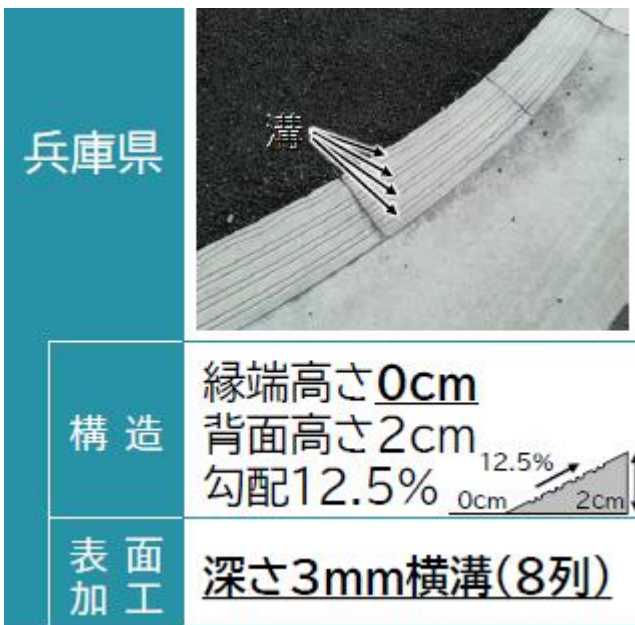
ない かどうしき あんないひょうじ いどう おも
ホーム内に可動式スロープの案内表示があれば、スムーズに移動できると思いました。

ひょうごほうしき えんせき ちょうさ い 兵庫方式(縁石)調査へ行ってきました！

だん させんたい かつどう いっかん
段差戦隊ジメンジヤーの活動の一環として、
ひょうごけん さいよう ひょうごほうしき えんせき ちょうさ い
兵庫県が採用している兵庫方式(縁石)調査へ行

ってきました。

ひょうごけんたからづかし おおさかふとよなかし ひょうごけん
兵庫県宝塚市・大阪府豊中市チームと兵庫県
あかしし どうけんにしのみやし わ でんどうくるま
明石市・同県西宮市チームに分かれて、電動車い
す、簡易電動車いす、手動車いすそれぞれの
たちば けんしょう おこ
立場から検証を行ないました。



ひょうごけんほうしき えんせき
【兵庫県方式の縁石】



み め けいしゃ かくど み
・見た目は傾斜や角度が、きつそうに見えた
けど、簡易電動車いすで自力で通ってみた
らキャスターなどが動くことなく上がったの
でスムーズでした。

くるま お かいごしゃがわ ひょうごほうしき
車いすを押す介護者側としては、兵庫方式
は押しやすく振動も少なく良かったです。

ひょうごほうしき さまざま ほどう えんせき ようす
【兵庫方式でない様々な歩道の縁石の様子】



だんさ せんち ばしよ くるま
段差3 cm の場所もあり、車いすのキャス
ターが、ひっかかり転倒する危険があります。



ほぼフラットになっていました。

ほそう じょう えんせき
舗装されてスロープ状になっている縁石もありました。



ちょうさ かんそう
【調査した感想】

たからづかえき ほどうしんごう い ち ひく せっち しょうがいしゃ こうれいしゃ つか やす しょう
・宝塚駅の歩道信号ボタンは位置が低く設置されていて、障害者や高齢者に使い易い仕様になって
いて良かったです。

ひょうごほうしき ぐ たい か ひょうご しょうがいしゃだんたい こうりゅう つな おも
・兵庫方式のメリットやデメリットを具体化して、兵庫の障害者団体との交流に繋がれたらと思いま
した。

ひょうごほうしき ばしよ だんさ せんちじょう じょう えんせき じょうたい えん
・兵庫方式になっている場所や、段差2 cm 以上、スロープ状になっている縁石など、いろんな状態の縁
石があったので、誰もがスムーズに通れる歩道の縁石が増えてほしいと感じました。

だい かい き かく 第2回ボーリング企画

き し は ら
By 岸原しほ（ピザパイむすめ）

わたしが企画したボーリングに、赤おに、青おにの仲間を誘って行きました。

2回目はスタッフもゲームに参加しました。メンバーは、しほとくらやみまん（真野さん）・あじさいさん（高田さん）・しらたきひめ（秋原さん）



いっしょ い
一緒に行った
なかま
仲間たち

🎵 一緒にいったメンバーの感想 🎵

【しらたきひめ(萩原 梢)】

楽しかったけど、スロープの滑りが良すぎてボールがいうこと聞かへん。
全国のボーリング場のスロープに滑り止めが付いていると、もっとボーリングがしやすい。



【くらやみまん(真野 響)】

ボーリングに行くのは初めてだった。
行く前からテンションがあがってた。
ボーリングの球をバットで突くのがすごく楽しかった。

うまく転がすことができたので、

メンバー内で一位を取ることができた。おもしろかった。
一日中大興奮だったので、汗が服からしぼれるぐらい出た。また行きたいです！

【あじさいさん(高田 裕子)】

久しぶりのボーリングで楽しかった。でもストライク取りたかった。
ガーター補助なしでやったのは、本気でやりたかったから！



(まとめ)

第2弾はスタッフも楽しそうに投げたり転がしたり、良い接戦で終わりました。
最後にみんなで記念写真を撮りました。



ミッション インクルーシブ

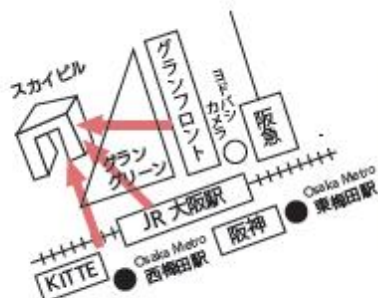
チラシ第一弾

うめだおにごっこ
2025

2025.
10.4 (Sat)
10:00-16:00

梅田の街を巻き込んだ
前代未聞のおにごっこ作戦を遂行せよ！

梅田スカイビル（2つのビルの間）
ワンダースクエアに集合！
受付：10時～11時（予定）



ストーリー

100年に一度の大規模再開発が進んでいる梅田。グラングリーン、JPビル (KITTE)、大阪駅西口など西梅田を主なエリアにして、まちあるき（ウォークラリー）を行います。スタートとゴールはスカイビルの1階広場のワンダースクエア。並行してキッチンカー、福祉体験コーナー、ミニコンサートなどの企画も準備中です。「西梅田って行ったことないなあ」って人、グラングリーンの芝生で遊んでみたい、寝転びたい人も是非ご参加ください。詳しくはNPOちゅうぶホームページ、チラシ第2弾を見てください。

参加費：500円（介護者無料）子ども（小中高）200円

主催：梅田おにごっこ実行委員会 共催：障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会 協力：アクセス関西（予定）
連絡先：Tel: 06-4703-3740 Fax: 06-6628-0271 (NPO法人ちゅうぶ)
※今回の企画は三菱財団の助成金を使用しています



ミッション インクルーシブ

うめだ おにごっこ 2025

障害のある人の自立と社会参加を応援する

NPO バリバリ大阪 トップエージェント

インクル・ハント

おにごっことは——

おにごっこは、まちのバリアフリーを体験しながら、まちのど真ん中でみんなが楽しむイベントです。誰でも参加できます。昨年まで「なんば おにごっこ」を7回実施しました。

ストーリー 合言葉は——ミッション インクルーシブ！

2025 年 大阪・梅田は 100 年に一度とも言われる大規模再開発の真っ只中。都市の未来を左右するこのタイミングに、障害のある人もない人も“本当に楽しめる街”をつくるため、注目が集まっている。

そんな中、バリアフリーの情報発信を担う AI ロボット **バリバラちゃん** が誕生！

大阪市と民間企業・株式会社 DPI の協力で開発された彼女は、観光名所や便利スポット、バリアフリー情報を元気にお届けするはずでした——。

しかしある日、何者かの悪意により、バリバラちゃんが誤った情報を学習！「新たなバリア」を次々と生み出し、ネットに拡散してしまったのです。

その結果、利用者からの苦情が殺到し、関係団体は大混乱……！

この危機を救うべく、立ち上がったのは——

障害のある人の自立と社会参加を応援する団体「NPO バリバリ大阪」のトップエージェント **インクル・ハント！** 梅田の街を舞台に、市民参加型のおにごっこ調査がはじまります！

まちを探索しながら、バリアフリーのヒントを集めよう！

誰でも参加 OK！

体験型イベント「おにごっこ」スタイルでワクワク学べる！

さあ、あなたもバリバラちゃんに“ほんとうの梅田”を教えてあげよう！

参加について

チラシ第二弾（8月上旬発行）に掲載するQRコードからご応募ください。NPOちゅうぶホームページにも案内を掲載します。

企画内容

梅田周辺（主に西梅田エリア）まちあるき / 10:00~15:00
ワンダースクエア（梅田スカイビル1階広場）にて、キッチンカー、福祉体験コーナー、コンサートなどを開催予定！

詳細は、NPOちゅうぶホームページ等でお知らせします
<https://npochubu.com/>

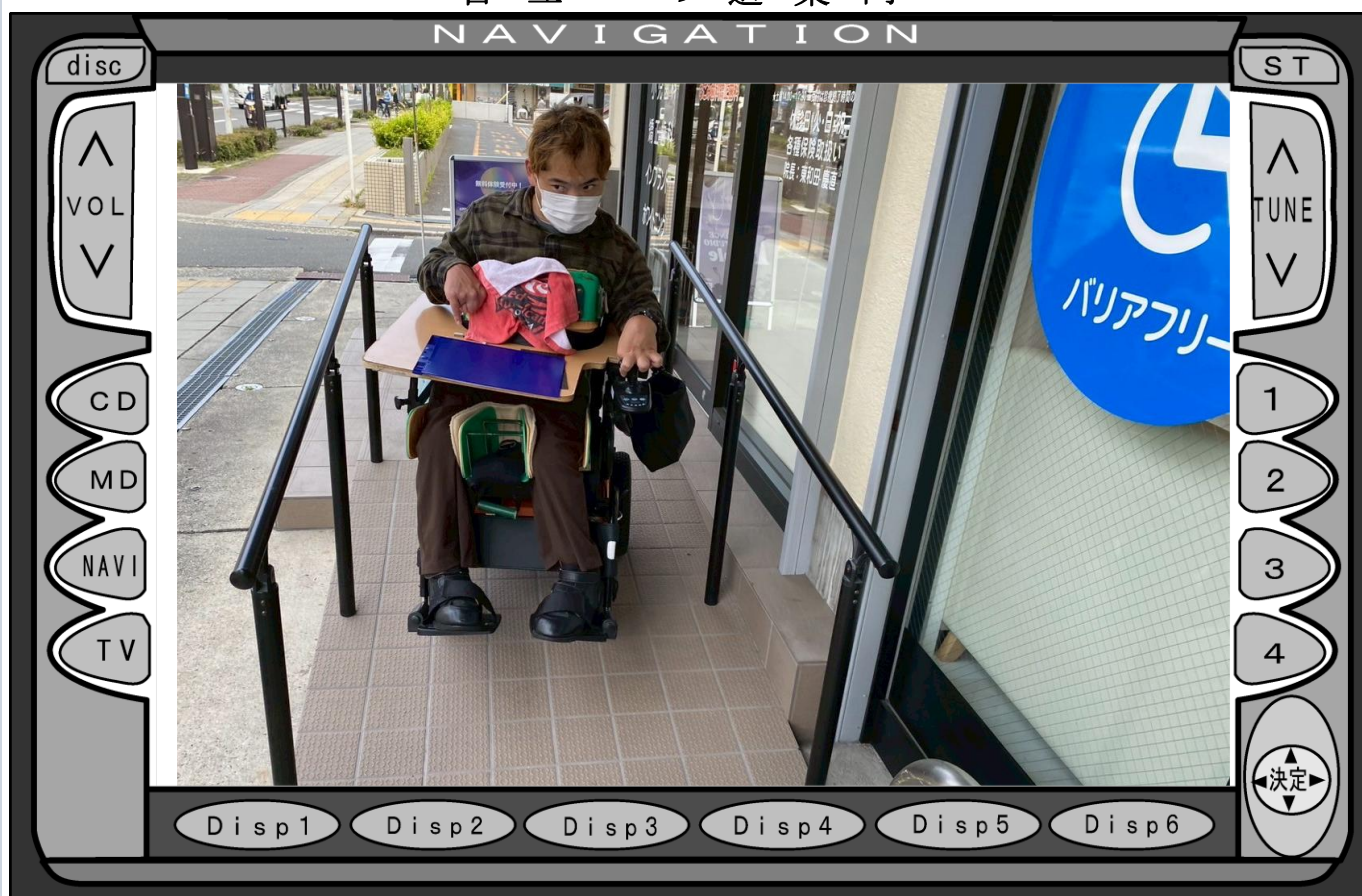


NPOちゅうぶ
ホームページ



ナビゲーション

じりつ みち あん ない
自立への道案内



しん しょうさはじ しょうほうおし
新コーナー クリニック調査始めました！ クリニックのバリアフリー情報教えてください！

もくじ

- ～ちゅうぶ筋ジス会 活動報告～ 2
- クリニック調査始めました！ 3
- おすすめのお店紹介します！ 5
- 大阪市施設入所者地域生活移行促進事業 6
- 機関誌ナビゲーションをリニューアルします！ 7
- 編集後記 8

～ちゅうぶ筋ジス会 活動報告～

ちゅうぶ筋ジス会は、NPO法人ちゅうぶの生活介護に通う、筋ジストロフィー当事者の会です。通所している曜日が異なるため2回に分けて開催しています。

○ボッチャで交流しました！(水曜日グループ)

障害者スポーツをみんなで楽しもうということで筋ジス会でボッチャ大会を開催しました。ボッチャの時に使うスロープを上下左右に駆使しながら、みなさんボッチャを楽しんでいました。音楽を流して雰囲気も良くしながら企画できたので良かったです。



○ゲームをする時の工夫は？(木曜日グループ)

eスポーツで活躍している筋ジス当事者がどんな活動をしているのか動画を視聴しました。eスポーツを紹介していた当事者の方は、手が動かさず顎でコントローラーを押していて当初はゲームすることが嫌だったけど、顎で操作できるコントローラーに出会ってeスポーツができていようになったとお話されていました。筋ジス会に参加されている方の中にもゲーム好きな当事者もいるので、どんな風にゲームをしているのか共有しました。



クリニック調査始めました！

今回から東住吉区や平野区のクリニックを紹介する企画を始めます。この企画をしようと思ったきっかけは、車いすに乗っている人は段差があって入りにくかったり、ホームページを見ても、診察室や待合室の様子がわからないことが多いです。そこで車いす目線でのクリニック調査をしようと思いました。（調査者は電動車いすユーザーです）

詳細情報

病院名	なごみ歯科・矯正歯科
診療科目	矯正歯科
住所	おおさか府おおさかしひがしすみよしぐはがしたなべいちようめ 大阪府大阪市東住吉区東田辺一丁目14-1
バリアフリー状況	スロープ、自動ドア、車いすトイレ
連絡先	TEL06-6115-8910
ホームページ	https://www.nagomi-sika.jp/
診療時間	9:30~12:30 14:30~19:30 月、水、木、金、土 火曜日と日曜、祝日は休み 土曜日午後は14:00~17:30
調査しての感想	入口に大きな車いすマークがあるので、調査してみたいと思いました。診察室は広いフロアに診察台がいくつか並んでいるタイプだったので車いすでも横づけしたり車いすのまま診察してもらえたり、いいところがたくさんあるなと感じました。



左写真 入口ドアの幅も100cmあり、入りやすくなっています。



右写真 トイレは介助者と車いすで入ることが出来ました。

しょうさいじょうほう
詳細情報

びょういんめい 病院名	かのいいん 加野医院
しんりょうか もく 診療科目	ないか こきゅうきか じゅんかんきか しょうにか 内科、呼吸器科、循環器科、小児科
じゅうしょ 住所	おおさかふおおさかしひがしすみよしこまがわさんちようめ 大阪府大阪市東住吉区駒川三丁目30-3
バリアフリー じょうきよう 状 況	だんさ な りようがわて 段差無し、両側手すり、 いりぐちじどう 入口自動ドア、インターホン高さ約115cm さいじょうぶ やく せんち 最上部までは約125cm
れんらくさき 連絡先	TEL 06-4399-3800
ホームページ	なし
しんりょうじ かん 診療時間	9:00~12:00 げつ か すい きん ど 月、火、水、金、土 16:30~19:00 げつ か すい きん 月、火、水、金 もくよう にちよう しゆくじつ やす 木曜、日曜、祝日は休み
ちょうさ かんそう 調査しての感想	いりぐち 入口からまっすぐスロープになっていて段差も ありません。くるま らく とお で き あります。車いすで楽に通ることが出来ます。 いりぐち はい みぎがわ うけつけ ひだりがわ かんじゃ 入口を入って右側に受付があります。左側に患者 さんが待つためのながいす 長椅子があります。まっすぐ通 り抜けるとしんさつしつ 診察室があります。



ひろ
広めのトイレもあり便利です。
べんり

み せ し ょ う か い

おすすめのお店紹介します！

こんかい、うどん屋の「手打ちうどん西村」について紹介します。

○「手打ちうどん 西村」

住所: 大阪市東住吉区今川4-4-7

営業時間: 月・火・水 11:00~14:30

土・日・祝日 11:00~14:30 18:00~21:00

※但し、麺が無くなり次第終了

定休日: 木・金

※祝日の場合は営業時間・定休日は変更となる場合がございますので、ご来店前に店舗にご確認ください。

電話番号: 06-6703-9568

調査者: 簡易電動車いすユーザー



み せ が い か ん
お店の外観



て ん
ちくわ天ぶっかけ

座席については、テーブル席が 6席、カウンター席が 5席(椅子を動かせる)あるので、テーブル席に車椅子ユーザーが入る際は、入り口側の座席のほうが入りやすいです。

テーブル席とカウンター席は、すべての座席が空いていれば車いす 3~4台は入れると思います。

店内は、幅広の簡易電動車いすで回転できるスペースがありました。


店内は、広く過ごしやすいかったです。

大阪府施設入所者地域生活移行促進事業

2022年度に一人暮らし大阪府施設入所者地域生活体験制度が制度化されました。

東住吉区にある入所施設2か所から1名ずつ利用希望者があり、当センターも外出プログラムを実施しました。ショッピングセンターに買い物へ行ったり、生活介護やグループホーム見学、障害当事者と交流を目的に当センターのスタッフと卓球をしました。参加された当事者の方も、プログラムを楽しみしてくれていました。今後も、この事業を活用して、たくさんの方が地域移行できるように取り組んでいきます。

ため かいじょしゃ いっしょ
お試しで介助者と一緒に
しせつ がいしゅつ
施設から外出してみませんか？



そと しょくじ
外で食事してみたい！

す かななものを買いたい！
い 行きたい！

えいが 映画やイベントに行ってみたい！

おおさかし しせつ にゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう そくしん じぎょう
大阪府施設入所者地域生活移行促進事業

- 地域移行するにはまだちょっと不安が。。。
- でも介助者と一緒に好きな所に行ってみたい
- 施設の外の障がい者の暮らしを見に行ってみたいなど、
地域での生活・体験に興味を持っている障がいのある方

- 障がい者支援施設に入所している方に対して、計画的な外出の体験を提供し、
地域での生活に移行するための支援を行います。
- 障がい者基幹相談支援センターと一緒に体験の計画を作り、体験中に必要な介助や
付添いによる見守り等を提供します。
- この事業の費用は原則として無料です。（食事代などの実費は負担していただきます。）

（問い合わせ先）裏面に記載されている各区障がい者基幹相談支援センター

機関誌ナビゲーションをリニューアルします！

長年、発行を続けてきた機関誌ナビゲーションですが、8月から記事の内容や発行ペースが変わります。
(基本毎月発行(ページ数は変動あり))

【これまでの機関誌ナビゲーション記事】

年3回発行してきました。たくさんの方々に愛読していただきました。ありがとうございます。記事の内容一部を紹介します。これから自立を目指している障害者や自立している障害者に生活の様子をインタビューさせていただきました。また、地下鉄調査隊などアクセスに関する、東住吉区内の生活介護や就労継続支援B型の紹介。コロナが流行っていた頃には外出制限もあり、取材なども控えるようになりました。そんな中でも紙面の質を落とさたくないという気持ちから当事者や支援者の方に依頼して原稿を書いていただく『sevenメッセージ』というコーナーもありました。

これまで、様々な方にご協力いただき機関誌ナビゲーションを発行することができました。これからも変わらず機関誌ナビゲーションを読んでいただき、自立のきっかけづくりに活かしてもらえたら嬉しいです。よろしくお願いします。

これまで掲載してきた記事の一例




〜Sevenメッセージ〜

今回から始まりました、Sevenメッセージのコーナー。どんなコーナーかというと、障害者の自立生活活動に「関わっている人」、障害者活動の経緯や、どんなところにやりがいを感じて活動しているのか、活動をしていく中で「楽しさや面白さ」を自由に書いてもらいます。記念すべき第1回目は、NPO法人自立生活センターあるるの島屋利治さんにお願いしました。


〜人とつながり、地域とのつながり〜

特定非営利活動法人あるる
自立生活センター・あるる
代表理事 島屋利治

プロフィール
島屋 利治
1968年 茨城県生まれ、脳性麻痺。就学前に1年間、病院施設に入院。小学高学年と地域の学校へ通う。職業リハセンターを経て企業で18年間、IT系事務担当と出会い、あるるで活動、現職、社会委員。



あるるの施設です。私たちのセンターは、都島区に敷地は約1000坪、新築に軌道の敷地をいただき、ナビゲーションの活動、そして自分自身の想いを盛りかえてみ



く働いてまし
活動にもた
なつたころ、
バスが停めた頃の人たちで（私は脳性麻痺ですが）、


りゅうしょうがいじゅよう わたし流障害受容

第1回

このコーナーでは毎週、重度の身体障害者にスポットを当てて、障害者について考えてみようと思います。インタビューでは、自身の障害を受け入れ、自立するまでの過程において、どのような動きがあったのか、それは、何らかの影響によるものだったのかなど、自身の経験を自由に語っていただきます。その中から、みなさんそれぞれの障害受容の姿を、探り出すことができればと考えています。今回は、障害者活動センター「青おに」に通っておられる、高田裕子さんにインタビューさせていただきました。

〜プロフィール〜

名前 高田 裕子
年齢 46歳
障害名 脳性マヒ
所属 障害者活動センター「青おに」
趣味 旅行、海外の刑事ドラマ



〜障害者であることの自覚〜

松島：よろしくお話しします。まずはじめに、障害者としての理由と、自分が障害者であるということが分かったのか教えてください。

高田：出産予定日は3月の終わりに決まっていたんですけど、誕生日が1月18日なので、ひと月ちょっと早く生まれました。その日からずっと日曜日で、いつも通っていた病院が休みやっていたんです。それで結局、近くの産婦人科をへて、自宅での出産となりました。でも、へそ

の緒が首に巻きついた状態だったので、呼吸をしていなくてほとんど死にかけて生まれてきたんです。でもおしりをたたいたりしているうちに産声をあげたから、もう大丈夫やろうってことで、結局病院には行かずに、おそろそのことが原因で脳性マヒになりました。2歳ぐらいのときから、南大阪療育園（現 大阪発達総合療育センター）に行っていて、平日はお母さんとふたりでリハビリのために入院して、ひとつのお見当りはおばあちゃんのところへ預けられていました。週末だ



じりつせいかつ
自立生活センター・ナビ
からのお知らせ

すぎはら たいち
杉原 大地さん

じりつせいかつ ほうこく
自立生活プログラム報告

せいかつかいごあか つうしょ すぎはらたいち じりつ
生活介護赤おにに通所している杉原大地さんの自立
せいかつ がつ はじ ぜんかい ひ つづ
生活プログラムを 4月から始めています。前回に引き続
せんぱいしょうがいしゃたくほうもんき かく こんかい すぎはら
き、先輩障害者宅訪問企画です。今回は、杉原さんの
あいえるびー さんか どうじしゃ
ILPにオブザーバー参加している、ナビ当事者スタッフ
もりぞのたく ほうもん もりぞの
の森園宅を訪問してもらいました。森園は、グループホー
ねん のち ひとりぐ ねんめ
ム3年の後に一人暮らしして11年目です。



すぎはら かんそう
杉原さんの感想

ふべん おも て せっち
もっと不便かなと思ったけど、スロープや手すりなどを設置したりして
くふう おお おも
工夫していることが多いなと思いました。



もりぞの かんそう
森園の感想

きんちよう やわ えんかつ しゅほう すぎはら きょうみ
・アイスブレイク(緊張を和らげコミュニケーションを円滑にするための手法)では、杉原くんが興味のある
くるま だい あいて よ そ たいせつ まな
車のお題でした。相手に寄り添うことの大切さを学びました。
けんしゅう ちが たが じょうほうこうかん じ かん すぎはら やちん
・ヘルパーさんの研修の違いなどお互いの情報交換もできて、いい時間でした。杉原くんが家賃のことも
き どうじ ふどうさんぎょうしゃ はなし で き よ
気になったようで、当時の不動産業者とのやりとりも話が出来て良かったです。

じりつせいかつ あいえるびー おお しょうがいしゃ しょうがい かいもの い
自立生活プログラム(ILP)とは？ 多くの障害者は障害があるというだけで、ひとりで買物に行ったり
ともだち あそ い しごと あ まえ けいけん きかい うしな
友達と遊びに行ったり、仕事をするなどのごく当たり前のことを経験する機会すら失ってきています。
しょうがい せいげん せいかつ うば がいいゆつ りょうり あそ きんせんかんり さまざま けいけん
障害があることで制限された生活によって奪われてきた外出・料理・遊び・金銭管理など様々な経験を
じりつせいかつ しょうがいしゃ たの と もど
自立生活をしている障害者がリーダーとなり楽しみながら取り戻していくプログラムです。

はまだ 濱田さん あいかとう!! ほしぞら 星空でのご活躍を祈ります!!

ちゅうぶとの懸け橋になってください

はまだ 濱田さんがもうすぐC I L 星空に転職されます。
はまだ 濱田さんはちゅうぶにとつて大事な人で、これから
もちゅうぶと星空との懸け橋になっていただきたい
という想いで、インタビューを企画しました。
はまだ 濱田さんがこれまで何に大事にしてきたのか、ひ
とつの区切りとしてシェアしたいと思います。

パンクロックが思想のコア

編集部(堀): はまだ 濱田さんがちゅうぶの職員になられたのは2017年ですね。ちゅうぶに来るまでは何をされていたんですか？

はまだ 濱田: 奈良県御所市出身で、両親、兄弟4人(全員男)、祖父母、の8人家族で育ちました。
すぐにいろんなことをやりたがる質で、小中学校はクラブチームで野球をやっていましたが、突然、ボクシングをやりたくなって、中学でボクシング部を自分で作りしました。高校2年のときには、バンドをやりたくなってのめり込みました。

兄の影響で1970年代後半のイギリスやアメリカのパンクロックを聴いていました。日本のバンドで言うとブルーハーツやハイロウズが好きです。その音楽の思想が自分のコアになっています。当時のイギリスは大不況で暴動も起きていたらしいです。高尚とされていた音楽への素人のカウンターカルチャーでした。

パンクってね、僕は福祉をやっている感覚ととても似ていると思っています。

ブルーハーツは、社会とか親に対しての歌詞が多くて、自分が変わっていくことを音楽にしている、差別とかもテーマになっています。



音楽の影響もあったのか、早く自立したいって思って、中学校の時には何回か家出しました。「家出します」って置手紙をして、一人で山に行っただけで帰って来たこともあります。どうやったら一人で生きられるんだろうって思って、戦中に一人でジャングルで生き残った人の手記なんかを読んでいました。

編集部(堀): 自分の人生を生きたいという想いがすごくつよかったんですね。

大阪で自立生活の始まり

はまだ 濱田: 高校卒業して、大阪の杭全に引っ越してきて本格的にバンド中心の生活を始めました。バンドメンバー3人で6畳一間で暮らし、深夜のコンビニでバイトして、バンド三昧していました。いわゆる、C I L 的にいうと、自分にとっての自立生活の始まりでした。

バンドをしながら、23歳までは杭全、大正区や長居や転々としていましたね。
一人暮らしも半年だけしました。彼女もできました。

恋人、コンビニ夜勤、金銭管理など、初めてのストレスが多く、悩みまくり辛い時期もありました。朝起きて、何もできない人の気持ちがやっとわかりました。鬱状態ですね。友人や恋人との出会いや別れを繰り返して心身共に解放されました。部屋に閉じこもっていたのに、区切りがついてハイになって誰にでもしゃべりにいって人を求めていきました。

愛隣地区で解放された



濱田: その当時、バイトしていたのが愛隣地区のコンビニで、外国人、生保、白雇いとか、福祉関係者とか、いろんな人に出会って、愛隣のまちで自分が解放され、エンパワメントされた感じがしています。お互いの立場を考えずにしゃべっていました。

コンビニの店員だけど、お客がおかしかったらおかしいと対等な世界でした。

編集部(堀): 濱田さんは、率直で、対等で、フレンドリー、自分はぶれずに、周りの人に接する人というイメージがありますが、愛隣での経験で培われたのかもしれませんが。

濱田: 24歳の時に、今の妻と出会いました。2011年3.11が起きて、原発の問題もあって、自分で作ったものを自分で食べたいという想いで、二人で奈良市に引っ越し、畑を借りて、野菜を作りつつ、イオンモールのCD屋で働いていま

した。

奈良では3年暮らしましたが、いろんなことで、大阪はオモロイなって思っ、大阪への移住を考えるようになりました。

影響を受けたのは、維新派という演劇(大阪維新の会とは無関係です)、関西弁を使う団体で、場所も九条の港を舞台にして自分たちで屋台をつくったりするオモロイ団体で、よく観に行っていました。

移住に際しての職探しで、ちゅうぶに職員採用試験を受けたんです。これがちゅうぶとの最初の出会いです。しかし、不採用になりました。それでも、障害者福祉の仕事をしたかったので、アワハウスに勤めました。アワハウスで3年働いて、2016年に逢坂さんの登録ヘルパーになることができて、ちゅうぶへ再びつながりました。



35周年企画で記念動画を作成

編集部(堀): ちゅうぶでの8年間で印象深かったことはなんですか？

濱田: 2020年のちゅうぶ 35周年企画ですね。あの大舞台で実行委員させてもらった経験は大きかったです。

失敗できない企画の経験、そして、記念式典で上映する動画づくりをさせてもらいました。編集するのに、DVD 50枚分ぐらいは観て、映像を通じてちゅうぶを知ることができました。

編集部(堀):映像から感じたことは何でしたか。

濱田:手作り感があって、規模が大きくなっていて、面白かったですね。自分らで看板つくったり、家借りたり、ウィークリーマンションで自立生活の練習をしたり、銭湯にいったり、なにげない映像の暮らしの様子です。ヘルパーに段差上げを教えているかと思うと、厚労省に交渉行っているし、ダイナミックな運動と、日常の手作り感が同居している感じでした。

編集部(堀):動画は独学ですか？

画像を切り取って、ストーリーを作っていく手法とかすごいなって思っているんですが、映画を見て培われたものですか。

濱田:アワハウスで働いていた頃に、原一男監督のさよならCPを見て、障害者運動に強く興味を持ちました。

原監督はドキュメンタリー映画の巨匠で、社会問題をテーマにしている方です。黒澤明監督の知的障害者が主人公になっている映画とか、中国のマッサージ師の話とか..映画から多くを学びました。

森達也監督のドキュメンタリーは嘘をつくという映画があって、その監督が言っているのは、どんな作品でも主観的になるということ。僕の感覚で作ればいいんだと思えて、作ることに面白さを感じるようになりました。

2017年にちゅうぶに入った時のチャレンジシートでエンターメント障害者というのを取り上げて、冊子にしました。障害者関係の映画ばかりを集めて自分で雑誌を作ったんです。DIYみたいに、自分でやってみるといふ姿勢とか生き方が好きなんです。

自分しか撮れない障害者の映像がある

編集部(堀):何を伝えるのか、メッセージ性を極めながら画像で創造するのが面白いんでしょうね。

濱田:常に自分もやったらできるという気持ちで作りました。自分でカメラを回したのでは、「星の生活」という星野勝史さんの映画で自立生活の様子のドキュメンタリーになっています。介護にいつもはいつている障害者の映像は自分しか撮れない。星野さんとか、和男さんとか、その瞬間を撮るのは自分しかない。自分がしている仕事でこの関係だからできるというのは、とても気持ちの充実がありました。



1984 12

中部障害者解放センター活動開始
日常的に障害者が集まり活動し、
生活の中身を作って行くと共に
集団で取り組みを広げていく
自立運動を目指した。

完 成



編集部(堀):和男さんと沖縄に行っただいぶ撮りましたね。ちゅうぶへのたくさんの置き土産がありますね。

自分の意見を伝えることの難しさ

編集部(堀): ちゅうぶで頭を打って、学んだこととかもありますか。

濱田: やっぱり、社会運動をしていくなかで、例えば都構想、コロナの問題。緊急事態宣言、行動制限というところで、自分の意見を伝えることの難しさを感じました。

僕は、コロナぐらいまでは、プライベートの自分の考えや、仕事上の考えをあまり分けずに来たんです。でも、コロナになったら、それが通用しなくなったと感じました。

編集部(堀): 自分の考えとは別に、ちゅうぶの作業所に所属する職員であるから、この立場をとらないといけないみたいなことですか。それを納得しないといけない自分があったわけですね。



考えが同じ人だけが集まることの危機感

編集部(堀): それぞれが常識とか、生きてきた道のりが違ったり、世間や社会に対しての考え方が違うから、多様な人が分かり合うって難しいね。

濱田: それが大きかったですね。

でも、そのことで僕は成長できたと思っています。怒りとか、憤りはあったけど、喧嘩してもしかたない。

どれだけ意見が違っても喧嘩していても、「みんな一緒に生きていきたい」ということに気づきま

した。考えが違う誰かを排除するのでなく。

僕がやめるといふ選択肢もあったけど、それで、僕と同じ考えの人ばかりになることが良いことなのか、その先の世界ってなんだろうと思いました。考えが同じ人だけが集まることの危機感を感じたのです。

マクロ的に見ても民族問題とか紛争とかあるけど、ちゅうぶみたいな小さな世界で関係性の改善ができないのなら、世界でもできないのではないかと思います。

インクルーシブな社会を一生かけて作る

濱田: インクルーシブな社会を作りたい、口で言っているけど、そうなることの大変さとか学ぶところがありました。

インクルーシブな多様な人が生きる社会を作ることにはやりたいことだし、やらないといけないことです。一生やるべきテーマを見つけたのは大きいことだと思っています。

編集部(堀): 濱田さんで印象的だったのは、都構想の取組で、都構想反対派の主張だけでなく、賛成派のこともちゃんと勉強しようって、しっかり言ってくれたことでした。

それを、障害者みんなで行ったというのがすごく良かったと思います。

濱田: 問題が起きて、基礎に初めて気が付いたということですね。都構想が起きて、地方自治ってこんなことなんだって勉強させてもらったし、コロナもいろいろ言っているけど、ウィルスってそもそも何なのかなっていう理解が大事だった。

編集部(堀): 濱田さんには、まず、平坦な冷静な目で物事を見ようという姿勢を常にかけてきたかなという気がします。

合意形成作ることにとっても大事だと思います。熱くなって、「これが正しい、お前ら理解しろ」というのは、違わかなって思います。

そうでないと、多様な人は巻き込めないかなって思いますね。

愛媛は世界一好きな場所

編集部(堀): 今度は愛媛の奥様のご実家で新しく生活されるということで、愛媛では、どんな生活ですか。

濱田: 愛媛、移住後の仕事は CIL 星空のスタッフとして働かせていただきます。大阪での経験を活かせればと思います。

連れ合いの実家がある大洲市は世界で一番好きな場所です。

商店街があって家の近くには漁港や海水浴場があります。保育園、小学校、中学校、高校があって、自治が残っている、小さな町に全部あるみたいな。電車も通っていて・

愛媛に行ったら、毎回、元気になるんですね。朝、4 時、5 時に目がさめて、一人で海沿いを散歩するんです。いつかここに住みたいって言うのは何年も前から思っていて、仕事のこともあって、夢みたいに想っていたんですが、子どもが生まれて、夢が現実的になった感じです。

CIL 星空の魅力 優しい

編集部(堀): 星空との出会いはどんな感じでしたか？



濱田: 星空はなんばおにごっこに来てくれていたので、名前は憶えていて、愛媛の団体で、なんばおにごっこに来るって、しかも打ち上げにも参加もしてくれて、面白い団体やなって、思っていました。

和男さんと沖縄の CIL に行ったりして、CIL のネットワークが体感できて、手作りのいい団体が全国にあって、ここも雰囲気が違うけど面白いなっていう感じです。

編集部(堀): 星空さんのどういうところに魅力を感じていますか？

濱田: 星空さんは誰に対しても優しいですね。ゆったりしていて穏やかです。

北海道の筋ジスの方が、わざわざ引っ越ししてこられていたり、浅沼さんも東京の八丈島から来られていて、人を惹きつける魅力がある団体なのだと思います。

それと、松山に事務所があるけど、愛媛の西とか南の方の田舎の方にも事業を展開しようとしているのが、パワーを感じますね。

編集部(堀): 今度の住居は、松山に近いのですか？ 映画館を作って、新しく B 型の事業所も開設されるそうですが、そちらのシネマ事業所に近いのですか？

濱田: どちらも同じぐらいで、車で 1 時間ぐらいですかね。ヘルパーとしても動くと思うので、利用者の家に通う感じですね。まずは、僕が何ができるのか考えるところからスタートする感じです。

ちゅうぶと星空と合宿やりたい

濱田: 現段階で、井谷さんと話をしているのは、ちゅうぶと星空との連携です。

愛媛の人が大阪にきたり、大阪の人が愛媛にき

たり、プチ合宿^{がっしゅく}ができればいいですね。海^{うみ}レクとかもやってくれたらいいし。

編集部(堀):合宿^{がっしゅく}とかやりたいね。別府^{べっふ}行ったときみたい^{ひこうき}に有志^{ゆうし}でツアー組^{くみ}んで、松山^{まつやま}は温泉^{おんせん}もあるしな。オレンジフェリー^{オレンジフェリー}がありますね。

濱田:車^{くるま}だったら、4時間半^{じかんはん}ぐらいです。結構^{けっこう}近い^{ちか}です。飛行機^{ひこうき}だったら、20分^{ふん}~30分^{ぶん}です。松山^{まつやま}空港^{くうこう}から星空^{ほしぞら}は近い^{ちか}です。

ちゅうぶへのエール みんな主人公^{しゅじんこう}

編集部(堀):最後^{さいご}にちゅうぶへのエール^{えール}がありますか？

濱田:ちゅうぶも全然^{ぜんぜん}まだ完成^{かんせい}されていないので、完成^{かんせい}されていないことの良^よさをみんな分^わかって、みんながみんなの力^{ちから}で、ちゅうぶを創^{つく}ってほしいです。

完成^{かんせい}されていると思^{おも}い込んで、「あれは違^{ちが}う」、「これは違^{ちが}う」というのは、ちょっと変^{へん}だと思^{おも}います。まだ、未完^{みかん}の部分^{ぶぶん}はあるので、みんなで創^{つく}っていく考^{かんが}え方^{かた}がいいのでないかと思^{おも}います。特^{とく}に若い人^{わかひと}はそれに気^きづいたら、働^{はたら}く楽^{たの}しみがもてると思^{おも}います。

ちゅうぶはわりと柔軟^{じゅうなん}な団体^{だんたい}なので、みんなで創^{つく}っていけると思^{おも}います。

編集部(堀):みんながちゅうぶを創^{つく}る主人公^{しゅじんこう}であり続^{つづ}けるということが大^{だい}事^じということですよ。

濱田:もちろんそうです。主人公^{しゅじんこう}であるから、それ

ぞれ責^{せき}任^{にん}があるということですよ。

一^{いっ}緒^{しょ}に創^{つく}って行^いこうと思^{おも}ったら、勉^{べん}強^{きやう}も努^{どり}力^{りよく}もして、言^{こと}葉^ばを探^{さが}してみんなで議^ぎ論^{ろん}して、そういうことをイチイチやっていると進^{すす}みにくいかもしれな

10年^{ねん}でできることを過^か小^{しょう}評^{ひやう}価^かし過^すぎる

濱田:最近^{さいきん}の好^すきな言^{こと}葉^ばは、「人^{ひと}は1年^{ねん}でできることを過^か大^{だい}評^{ひやう}価^かし過^すぎる、そして、10年^{ねん}でできることを過^か少^{しょう}評^{ひやう}価^かし過^すぎる」という言^{こと}葉^ばです。

ちゅうぶも1年^{ねん}でできることを過^か大^{だい}評^{ひやう}価^かし過^すぎて、いろいろやり過^すぎているかもしれないです。

マラソンでいうと、自分^{じぶん}たちがどこを進^{すす}んでいるか把^は握^{あく}できているかどうかですね。見^みえないとしんといやろうし、目^{もく}標^{ひょう}に対^{たい}してのペースを、僕^{ぼく}は、結^{けつ}構^{こう}意^い識^ししています。

でも、一^{いち}個^こ実^じ行^{ぎやう}したら、確^{かく}実^{じつ}に進^{すす}んでいますから。見^みえなくても、ちゃん^{うんどう}と運^{うんどう}動^{どう}は積^つみ重^{かさ}ねていっていることは意^い識^しすることは大^{だい}事^じだと思^{おも}います。

編集部(堀):濱田^{はまた}さんもこれからは星^{ほし}空^{ぞら}の創^{つく}り手^ての1人^{ひとり}になれるわけですね。

星^{ほし}空^{ぞら}で頑^{がん}張^ばってくださいね。高^{たか}め合^あっていい

濱田:コラボ企^き画^{かく}やって、高^{たか}め合^あって、何^{なに}かが生^うまれることを期^き待^{たい}しています。みんなで美^み現^{げん}できたら楽^{たの}しいですよ。

編集部(堀):本^{ほん}日^{じつ}は、ありがとうございました。



きどみちおへや 木戸通雄の部屋

追悼 長嶋茂雄6月3日(火)AM6時39分永眠



きどみちおへや
木戸通雄の部屋

●Mr.ジャイアンツ長嶋茂雄89歳(脳梗塞・肺炎で死去)

振り向けば、そこに長嶋茂雄がいた。そして、木戸通雄がいた。昔、白黒テレビでセリーグは巨人、パリーグは南海ホークスを見て育った。

小学一年生、六歳の木戸がいた。私の通雄という名前は親が、長嶋茂雄の雄からとってつけた。通は皇室の美智子さんからとってつけて、美智子さんの美智にすると画数が合わないらしい。

私の遠い親戚の朝日新聞社新聞記者兼ジャーナリストの津田靖さんは、本当に関西六大学の京都大学でエースをやっていた。読者の皆さんの中にはエッ！！と信じられないでしょうが、元阪神タイガース(関大野球部)ピッチャーの村山実さんと投げ合った仲。おじさんは、若かりし頃の長嶋さんは東京六大学で三塁が上手かった、と言っていた。

●その頃、南海には野村がいた。

木戸が小学一年生の時、高校野球で青森県三沢高校の太田幸司投手が甲子園で活躍し、現オリックス(旧近鉄バファローズ)に入団した。昔は近鉄バファローズより大阪南海ホークスの方が人気があり、杉浦が投げ、野村克也が活躍していた。昭和34年に、南海ホークスが球団創設以来初めて日本シリーズを優勝した。今の世代の読者は二刀流のドジャース大谷フィーバーに酔っているだろうが、当時56年前に野村克也が選手兼監督で元祖二刀流をやっていた。

野村克也も入団時は苦労されたのだろう。サイズの合わないユニホームを着ていてプロ野球選手だから、高い給料をもらっているだろう、とパソコンで調べた。パリーグファンに謝罪しておきます。どうもすみません。それほど給料はないらしい。



セパ 12球団で、今までの歴代記録でバファローズが日本一になった歴史はなく、悲しい。オリックスバファローズも何回もリーグ優勝してきたが、令和6年惜しくも日本一は横浜ベイスターズ。野球発祥の地は木戸が考えるには大阪じゃないかな？でも、そのもっと昔、巨人の正力オーナーがアメリカに行き、日本に野球を広めたというから東京から始まったのかなあそれとも大阪タイガースかなあ？しかし関西人は野球が好きだなあ！！

25年前の平成12年、日本シリーズON対決。福岡ダイエーホークス対読売巨人軍、王

貞治率いるホークスが勝つか？長嶋巨人軍が勝つか？世紀の一戦。日本シリーズ最終戦。10月28日。野球の神様は長嶋監督に微笑んだ。6年ぶり 19度目の東京読売巨人軍ジャイアンツ日本一優勝。野村さん長嶋さん、空の上で…キャッチボールでもして肩を作ってから、セパ交流戦の監督としてNNコンビで対決してください。ご冥福をお祈りします。次のページでは、読者の方が待ちに待った木戸が描いた長嶋さんのイラストを綴りました。次回、恒例の天神祭須磨海水浴場編へ続く。(文責:木戸)

燃える男

だれ 誰からも愛された国民の英雄ヒーロー

4番サード サラバ 永又欠番

長山島茂雄

必こう当時の王求場の
ウグイス嬢
は告げて
いたのです。

背番号3
球史に残る
V9戦士

三振しても
ハ・フ・オ・マ・ン・ス
糸会になる男

プロ野球
阪神ファンの皆さん、そして巨人ファンの皆さん
スイマセン。
木戸通雄は阪神ファンですが巨人をキライに成って、
永遠のヒーロー英雄の先立たれた長嶋さんは
キライに成らないで下さい。

君に未来をみるたろうー
君よりチヨッピリ年上は
過ぎた青春
なつかしむうう??!

M. Kato

manostagram



mano_kyo

...



#枯山水 #水を使わずに水のある景色を表現した庭 #建物の中から心静かに鑑賞するための存在

manostagram



mano_kyo

...



#鯉 #美味しそう #刺身 #煮つけ #原養魚場 #いつか高槻にある鯉料理専門店に行ってみたい。

manostagram



#モナカ #美味しそう。
#食べられません。 #鯉のエサ

manostagram



#池田城 #違う #模擬檣台（もぎやぐらだい） #階段昇降機 #眺めは最高 #淡中ヘルパーの家が見えた。

きょうりよく か い ひ

きょうりよくしや め い ぼ

協力会費・カンパ協力者名簿

よしむら 吉村 いのうえ 井上	あきお 明夫 まさたか 正隆	さん	ならけん (奈良県) ひがしよどがわく (東淀川区)	ふじの 藤野 ゆき 幸	さん	かがわし (加古川市)
--------------------------	-------------------------	----	-------------------------------------	----------------------	----	----------------

がつ にちげんざい
7月1日現在

きょうりよく
ご協力
ありがとうございました
たんとう あんどう
(担当：安東)

「つゆは、どこにいった?!」



ボクの念が強すぎたのかな
by てるてる坊主

れんじつ
※連日32℃を超える真夏日が続いてい
る
がつ にち さつえい つゆ あ
6月18日に撮影。梅雨明けはまだ。

ここにいるよ by つゆ



あれ?、つゆだくを頼んだは
ずなんだけど...



あお
青おにくん：「笹の葉♪さ～らさら～」

あか
赤おにくん：「商売 繁盛 で～♪、笹持ってこい!!」

あお
青おにくん：「いやそれは、えべっさんだよ」

あか
赤おにくん：「お米が安くなりますように…」

あお
青おにくん：「脱施設、地域移行が進みますように…」

あか
赤おにくん：「織姫さんと彦星さんに人の願いをかなえる力 なんてあるのかな
…、二人が会えるどうかでせいいっぱいなんじゃ」

あお
青おにくん：「願いを叶えるのは自分自身らしいよ。皆さんも短冊に願い事を書
いてみたらいかがでしょう」

二人：「ハッピー！ミルキーウェイ！」

2025年7月～9月 スケジュール		
7月26日	土	施設障害者虐殺（相模原事件）9年目の追悼アクション 18:30～@ヨドバシカメラ梅田周辺
8月26日	火	27日（水）28日（木）IBU四天王寺大学・重度訪問介護講座
8月27日	水	大阪府オールラウンド交渉1日目「権利、交通、教育保育」13時～17時@天王寺区民センター
8月28日	木	大阪府オールラウンド交渉2日目「介護、グループホーム、地域移行地域生活」9時～17時@住之江区民センター
9月12日	金	～13日（土）ちゅうぶ防災一泊企画「能登半島震災支援の話あり」@ちゅうぶ4階（予定）

●関西は6月27日に観測史上最も早い梅雨明け。すでに連日の猛暑。熱中症対策も事業所に義務付けられた。昨年夏は山のマラソン（トレイルラン）に行きましたが、なぜか変形性膝関節症になり、リハビリ中。緑内症もそれなりに進んでちょっとバテ気味。ただ、休んでも改善はしないのでリベンジ計画中。先日は障害者運動の第一世代でもある元関西青い芝の古井正代さんが亡くなりましたが、葬儀は「正代祭」と銘打って、親しい人もそうでない人も適当に集まって、まさに「祭」でした。紙面ではちょっと書きにくい、でも彼女らしい、楽しい、有意義な宴でした。「死」も「生」の延長線上にある、実感しました。暑さに負けないぞ！（いしだ）

●相談支援の仕事をしていて、日々困るのが、障害を持つ人が地域で暮らしていくために重要なヘルパーが足りない事だ。やっと事業所が見つかったも、次々と辞めていく。見つかったと思ったら、60代、70代、先日は80代のヘルパーもいた。家庭内だけではなく、サービスの現場でも老々介護なのだ。昨年訪問介護の基本報酬が切り下げられてから、介護保険系の事業所の倒産が相次いだらしい。切り下げの根拠は「黒字」だから。確かにサービス付き高齢者住宅等での介護だと、施設での介護と同じだから黒字かもしれない。居宅に訪問する事業所は、報酬が減らされたら賃金も上がらず、人手不足を引き起こして減っていくしかない。東住吉区内もどんだん高齢者の施設が建てられている。「住宅」という名前が付いた施設。そこに障害者もターゲットになってきている。そこに入って、そこから日中活動に通ったり、移動支援で外出できるのだ。けれど施設内での介護は食事・起きる準備・寝る準備・トイレ・日中活動の送り出しで、結局自分の好きな時間に寝たり起きたり、好きな食事を食べることはできない。介護報酬を減らすことで、ますます介護の効率化が求められ、ある程度介護が必要な高齢者は身近な施設へ行くしかなくなる。もうすぐ70に手が届きそうな私にとって、明日は我が身である。障害者が置かれている問題は、決して障害者だけの問題ではないことを思い知らされる。（にしかわ）

●すてっぶの畑村です！7月というに入職した月で、ありがたいことに丸10年の節目を迎えます。昨年は自身の中でもかなりつらい変化のあった年でもあり、そうした経験もあってか今年は未来を見据えながら力を入れていろいろ考え続ける1年にしようと決めて半年が過ぎました。仕事面はもちろん、子育てにも全力で向き合い、自分自身も成長していけるように「挑戦してみる」をテーマに一人でこどもら3人連れて梅田に出かけてみたりもして。商業施設がオープンする前のグラングリーンうめきた公園でのびのびと走りまわりながらはしゃいで遊びまくって次男が好きな阪急電車を見に行ってみたり楽しく過ごして・・・みたいなのもあれば「あれ、ほしい！」「あれ食べたい！」に対してなんとかかわすも拗ねだしたり脱力したりで抵抗を決める子ども達・・・。帰りはクタクタで電車の中で一緒に寝てしまうことも何度もありました。他には一見関係なさそうな研修会に参加しに行ってみると気づきに繋がったり、お誘いきっかけにボルダリングを始めてみたりと知らないことや考えに触れていくこと、巡り合わせの機会を大切にしていくことで、楽しみやワクワクする感じがよみがえってきて、これらが活気に繋がっていきける気もしたり・・・。自分のなかの引き出しを増やしていきつつ、いろんなことまるごと楽しんでいく姿勢で今日も気楽に頑張ります！（はたむら）

【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】
【自立生活センター・ナビ】
〒546-0042 東住吉区 西今川 2-3-8
でんわ = 06 (6760) 2671
ファックス = 06 (6760) 2672



【障害者活動センター 赤おに】
〒546-0031 東住吉区 田辺 5-6-10
でんわ = 06 (6623) 7300
ファックス = 06 (6657) 5010

【グループホーム・リオ】
〒546-0032 東住吉区 東田辺
2-21-21
でんわ&ファックス
= 06 (6608) 5244

【ヘルプセンター・すてっぶ】
NPO法人ちゅうぶ 2階
でんわ = 06 (4703) 3741
ファックス = 06 (6628) 0271
【ヘルプセンター・すてっぶ】
NPO法人ちゅうぶ 1階
でんわ = 06 (4703) 3742
ファックス = 06 (4703) 3743

編集：特定非営利活動法人
エヌピーオーほうじん
【NPO法人 ちゅうぶ】

〒546-0031
おおさかしひがしすみよきたなべ
大阪市東住吉区田辺5-5-20
でんわ=06 (4703) 3740
FAX=06 (6628) 0271

ホームページ=https://npochubu.com/
メールアドレス=chubu@npochubu.com
ゆうびんふりこみこうざ
郵便振込口座：00960-6-313427
通信 定期購読料＝1年間2,000円